

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-3	小学校	国語科	書 写	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 203	小学 しょしゃ 二年		

1. 編修の基本方針

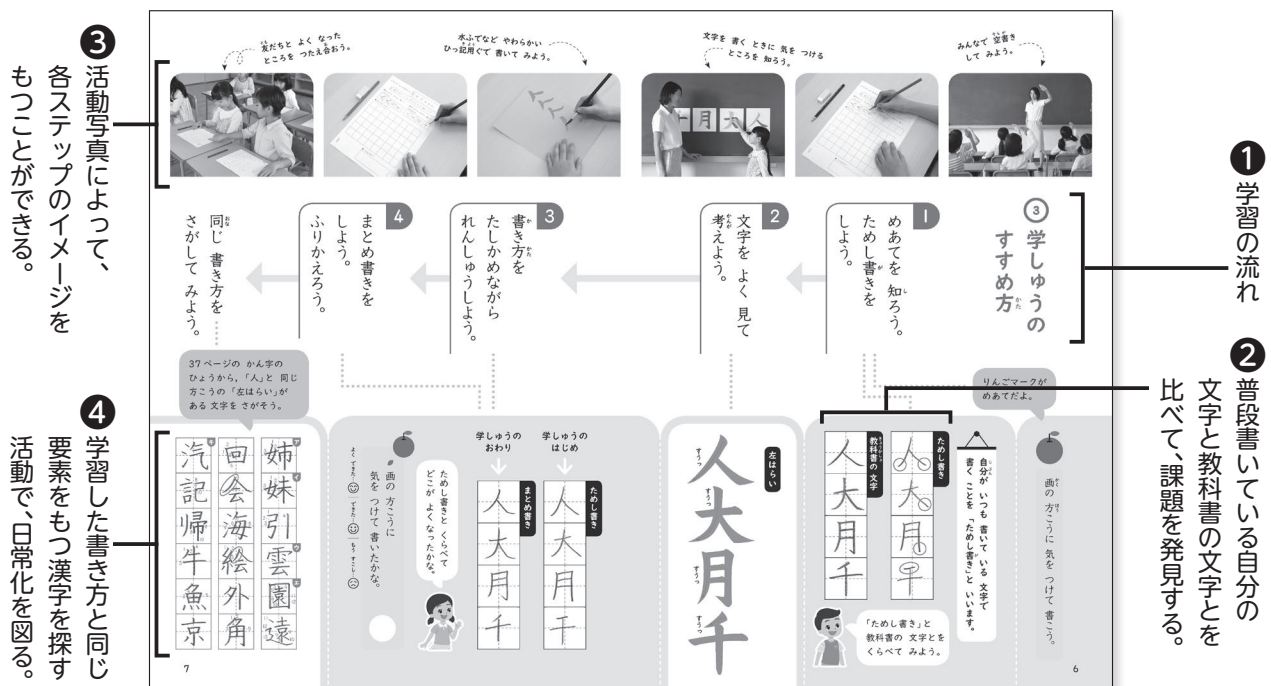
文字を整えて書くための原理・原則を理解し、自分の課題と向き合って練習する過程をとおして、子どもたちは「学び方」を身につけます。

相手にわかやすく伝えるための書き表し方について考え、工夫する過程をとおして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。

本書は、教育基本法に示された教育の目的（第一条）および目標（第二条の第1～5号）の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。

① 「どのように学ぶか」の見通しがもてる

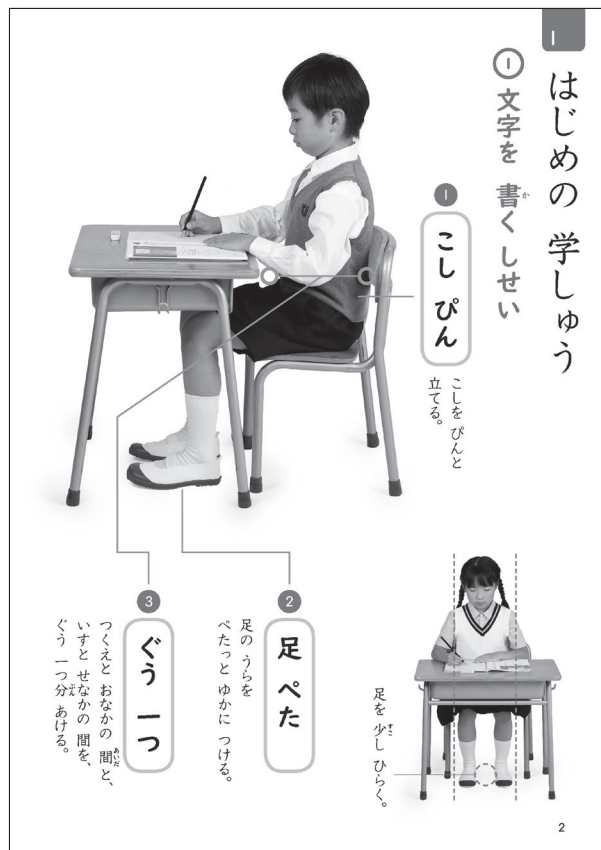
● 全学年に「学習の進め方」を収録しました。子どもの書字例や活動写真例を示すことで、自分の課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。



▲p6-7 学しゅうのすすめ方

② すべての学力の基礎となる「よい姿勢」と「鉛筆の持ち方」の習得

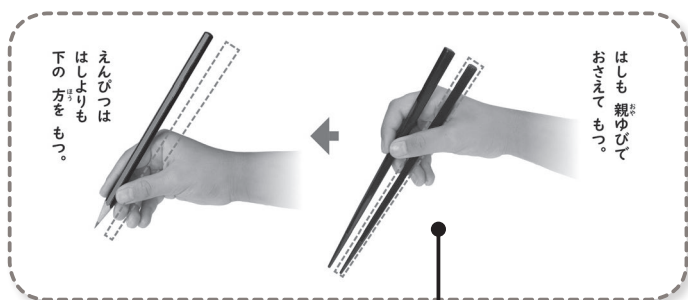
- よい姿勢を保つには、腰を起こし、背筋を伸ばすことが大切です。体幹を整えるために合言葉を唱えることで、よい姿勢を習慣化できるようになります。



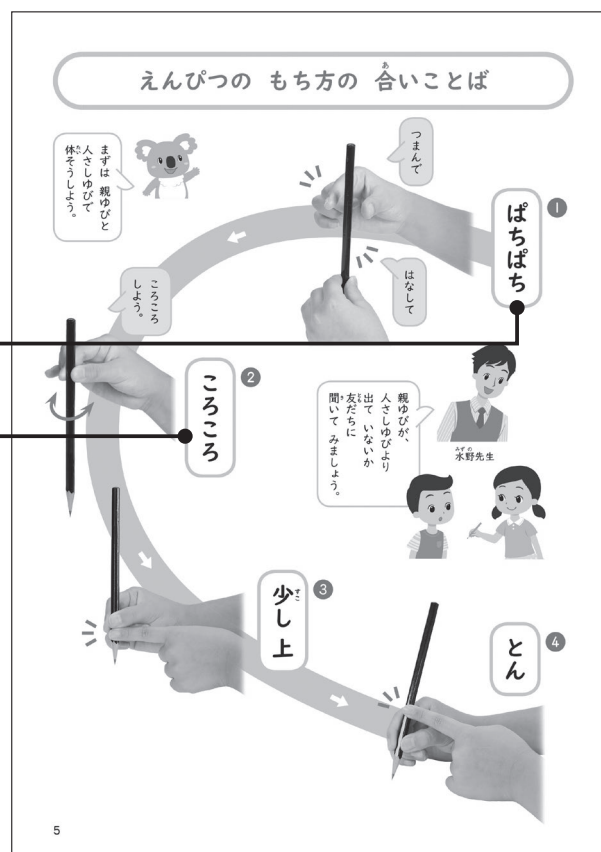
▲p2-3 文字を書くしせい

- 効率のよい鉛筆の持ち方をすると、疲れにくく、適切に運筆することができます。はしの持ち方と比べて、親指の機能を高める運動を行ったりすることで、楽しみながらよい持ち方を意識できるようになります。

「ぱちぱち」「ころころ」とウォーミングアップを行うことで、余分な力を入れずに親指と人さし指でつまめるようになる。



はしの持ち方と比べることで、共通点と相違点を理解できる。

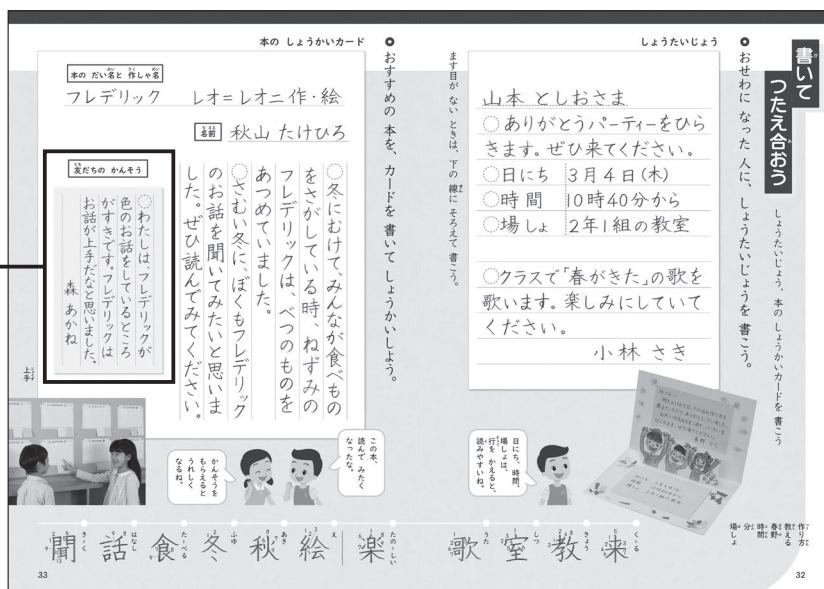


▲p4-5 えんぴつのもち方

③ 書いて伝え合う心を育てる

- 全学年に手紙やはがきの書き方を収録することで、学年の発達段階にふさわしい伝える力を育てていきます。低学年では、書いて伝え合う楽しさを実感できる題材と場面を設定しています。

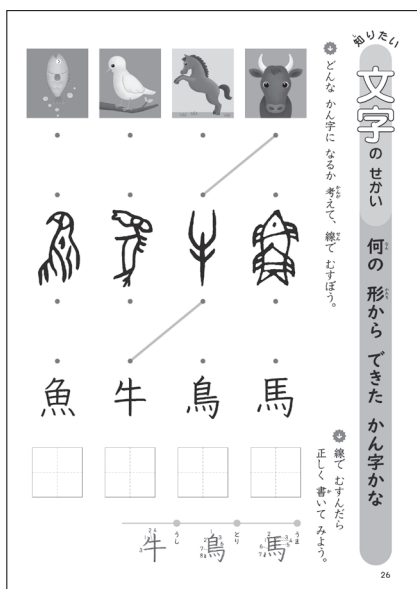
感想を書く活動とおして、
伝え合う楽しさを感じ、
相手意識をもつことができます。



▲p32-33 書いてつたえ合おう

④ 子どもの文字環境を豊かにする

▼p26 知りたい文字のせかい



▼p27-28 年がじょうと書きぞめ



- 文字の成り立ちを扱うことで、文字への興味・関心が高まるようにしました。国語の学習と関連させることで、知識・技能が有機的につながるような構成です。

- 年賀状を書いたり、お正月にまつわる文章を書いたりすることで、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

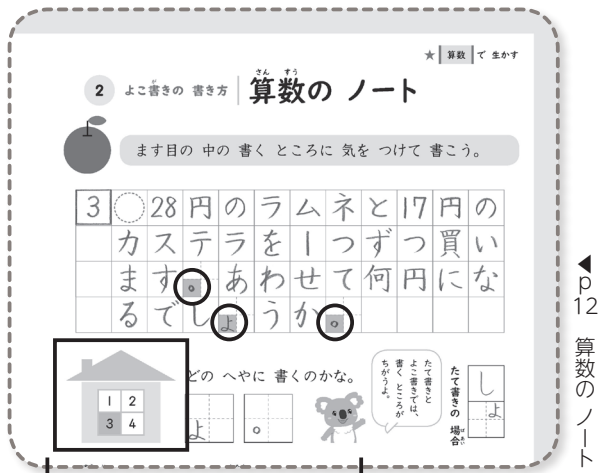
〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
1 はじめの学しゅう ① 文字を書くしせい ② えんぴつのもち方 ④ しょしゃの体そう	<ul style="list-style-type: none"> ● 運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記用具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。〈第1号〉 ● 運筆の動作を体感することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉 	p2-5, 8-9
2 かたかなの学しゅう 画の方こう 3 かん字の学しゅう 1 書きじゆん 2 画の方こう 3 画の長さ、画と画との間 4 画のつき方と交わり方 5 文字の中心 7 文字の形	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。〈第1号〉 ● 確かな書く力を身につけることにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉 ● めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。〈第2号〉 ● 教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。〈第3号〉 ● 教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるように配慮しました。〈第4号〉 ● 書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。〈第1号、5号〉 	p10-11, 14-18, 20-25, 30-31
③ 学しゅうのすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学しゅうのすすめ方」を提示することで、児童が意欲的・主体的に学習する能力を高められるように配慮しました。〈第2号〉 	p6-7
6 年がじょうと書きぞめ 知りたい文字のせかい	<ul style="list-style-type: none"> ● 書きぞめの言葉として、『元気な子』の教材とお正月にまつわる文章、年賀状を書くことで、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。〈第5号〉 ● 文字の成り立ちを扱うことで、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮しました。〈第5号〉 	p26, 27-29
文字をくらべて話し合おう 【レッツ・トライ】 お話の聞きとりメモ 算数のノート 【書いてつたえ合おう】 しょうたいじょう、本のしょうかい カードを書こう	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習の成果が認め合えるような教材を設けました。〈第3号〉 ● 学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。〈第2号〉 ● 地域のかたに手紙を書く活動を設定することで、地域との交流を図れるように配慮しました。〈第3号〉 	p19, 12, 13, 32-33

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

●ユニバーサルデザイン (UD) による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応
色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字 (ユニバーサルデザインフォント) などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。



色覚の個人差を問わず、より多くの人に、見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品 (障がい者アート) を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。



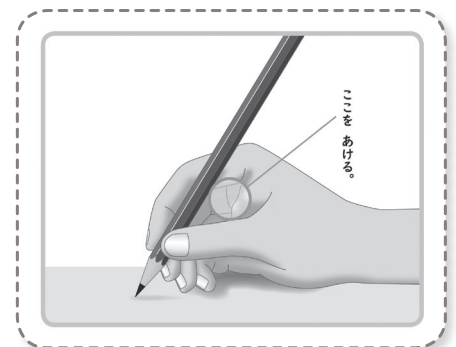
▲p.29 書きぞめ

●地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

●堅牢な造本

- ・表紙には撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。
- ・裏表紙の氏名欄は型抜き加工がされているため、どんな筆記用具でも書き込むことができます。
- ・裏表紙では、全学年において、鉛筆・筆の持ち方の図版や写真を取り上げており、いつでも確認できます。



▲2年裏表紙 えんぴつの持ち方

編 修 趣 意 書

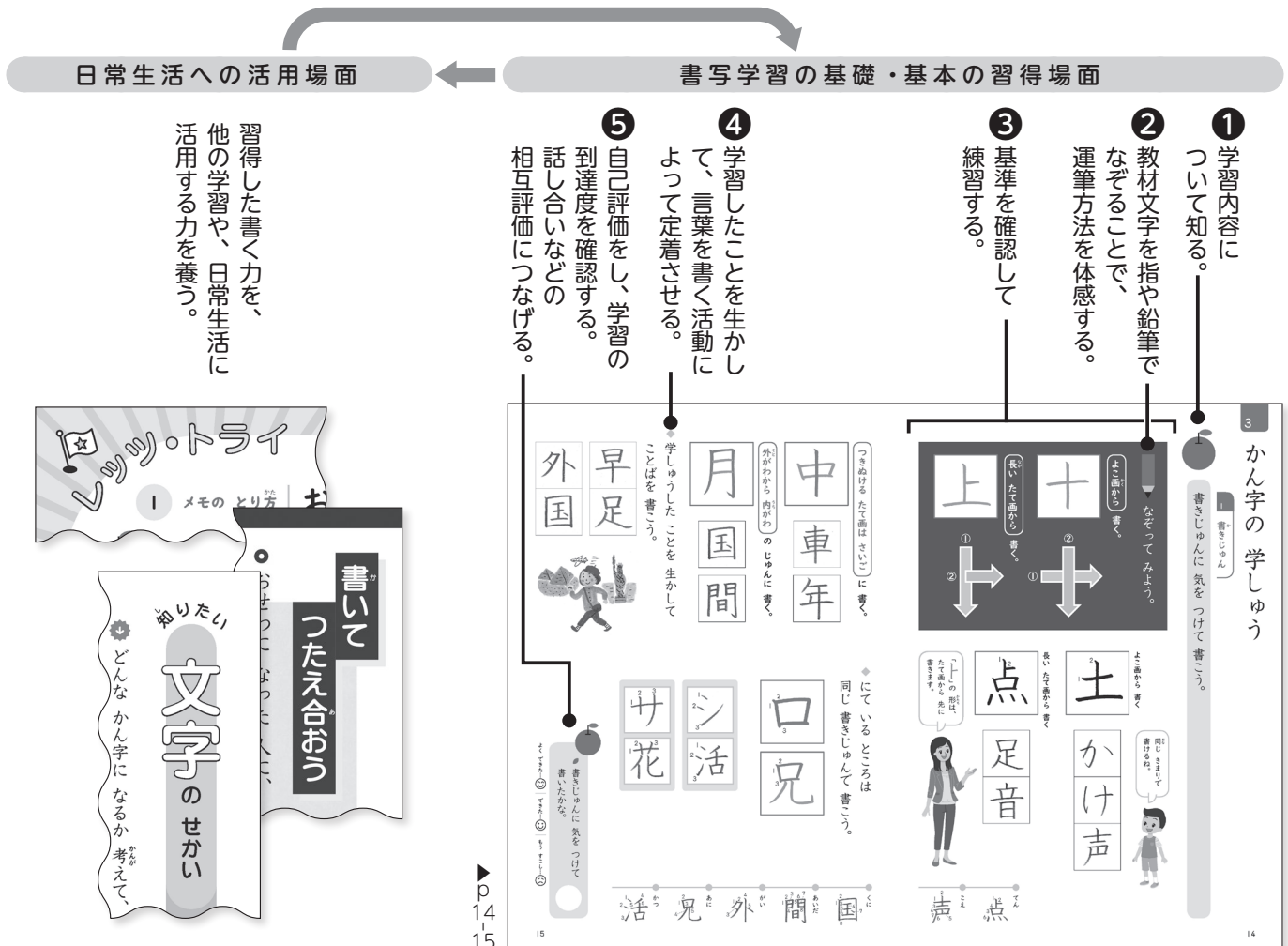
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-3	小学校	国語科	書 写	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 203	小学 しょしゃ 二年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色


① 学びやすく、教えやすい紙面構成

- 「めあて」→「文字を書く原理・原則の理解」→「言葉を書いて応用を図る」→「振り返る」までの流れがわかりやすい紙面構成です。
- ・ 紙面で使用する色数を絞ることで、文字に注目できる、落ち着いたレイアウトです。



② 運筆リズムを体感し、適切に運筆する能力を高める

- 運筆を「とん・すうっ・ぴた」などの共通した音声で表す，腕を動かして空書きを行う，大きな文字を指でなぞる，運動の様子で表すなど，体感したり想像力に働きかけたりしながら，運筆のリズムを体感できるような活動やイラストを提示しています。



● 先がやわらかい
ひっ記用ぐでも
書いてみよう。

「はらい」の
カの入れ方が
よくわかるね。

はじめるよ！

山本先生

はい！

④ しよしやの
体そう

たて画

とん
すうっ
ぴたっ

上から下へ。

止め

よこ画

とん
すうっ
ぴたっ

左から
右へ。

▲p8 しよしやの体そう

みんなで ^{そらが}空書き
してみよう。



▲p6 学しゅうのすすめ方

2 画の方こう

画の方こうに気をつけて書こう。

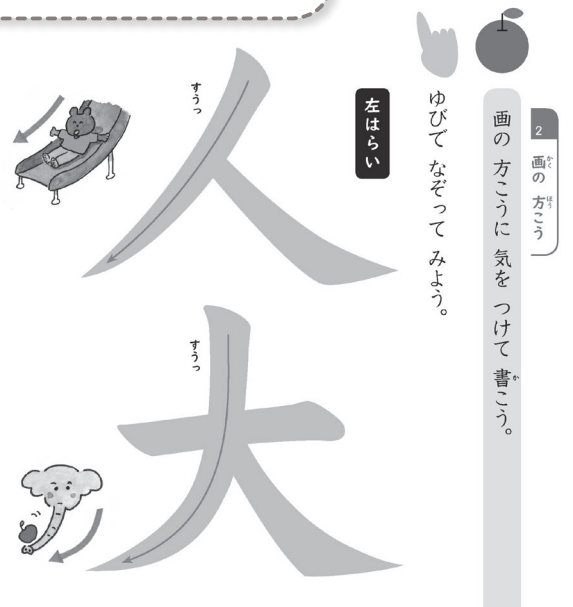

ゆびでなぞってみよう。

左はらい

すうっ

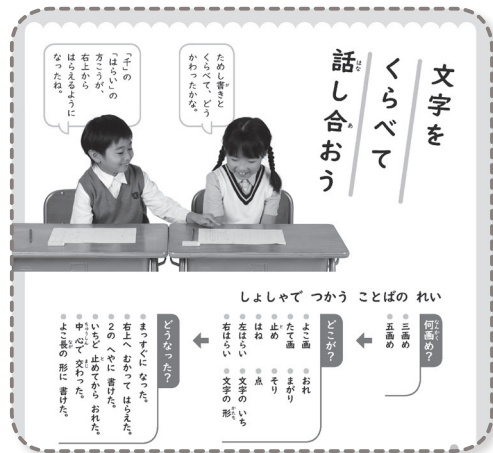
すうっ

● 先がやわらかい
ひっ記用ぐでも
書いてみよう。

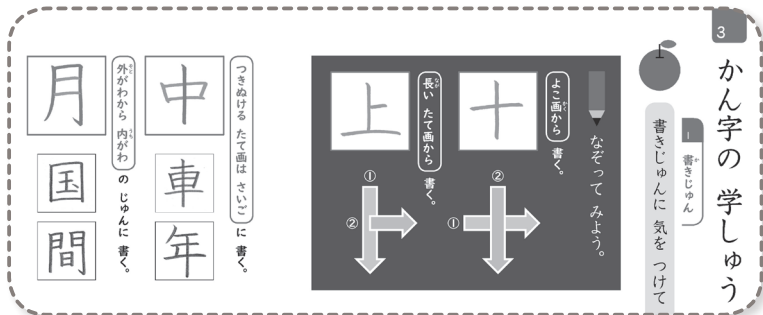



③ 「主体的、対話的で深い学び」につながる学習活動

- 文字を書くときの原理・原則が理解しやすい図版、文字を見るとき視点、他の文字への応用を図る手だて、友だちと伝え合う活動のための語彙など、「理解」「比較・分析」「活用」「伝え合い」の活動を支える学習材を豊富に掲載しています。



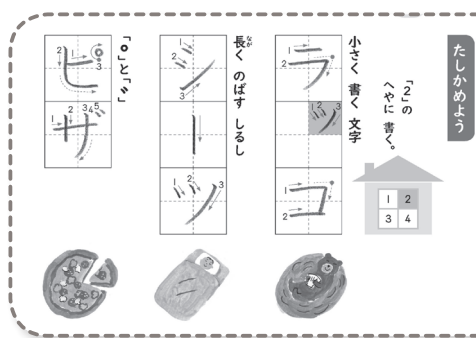
▲p19



▲p14-15

④ 国語力の基礎を養う

- 国語で学習した文学教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。
- 子どもの発達段階を考慮した言葉とイラストによって、楽しみながら定着を図ることができます。



▲p10

p35▶

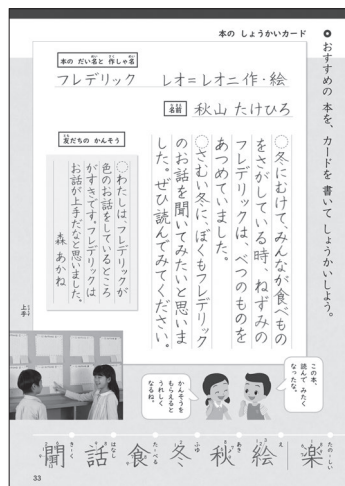


⑤ 他教科での活動や言語活動のなかで生かせる「活用力」を身につける

- 身につけた書写力が、学校生活や学習活動の「どの場面」で生かせるのかが、すぐにわかるように構成されています。

▼p13 お話の聞きとりメモ (生活)

▼p12 算数のノート (算数)



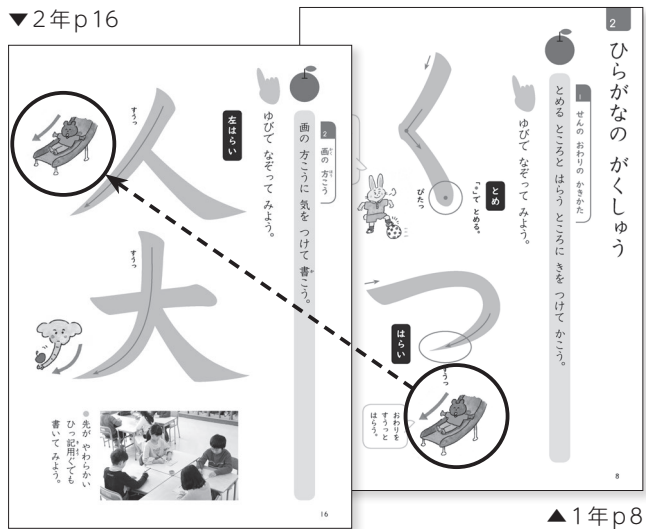
▲p33 本のしょうかいカード (国語)

⑥ その他の配慮事項

● 学年間の円滑な接続

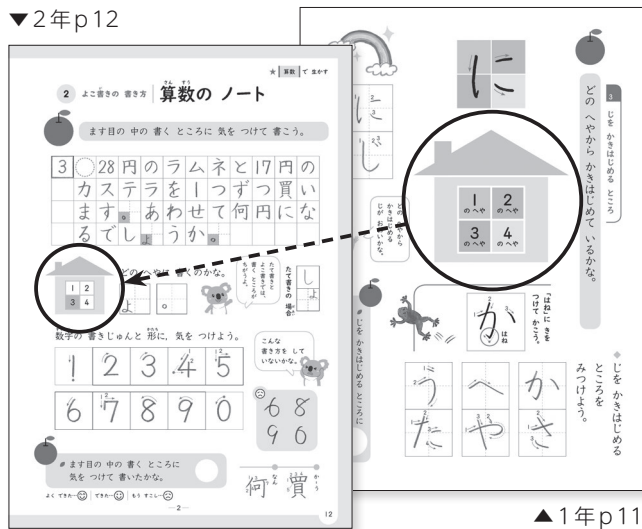
学年をまたいで共通の図版を用いたり、既習事項を次学年に再掲したりすることで、既習事項を振り返り、確実な定着を図ります。

▼2年p16



▲1年p8

▼2年p12



▲1年p11

● 「何ができるようになったのか」を確認める

これまでの学習を生かして時間割を書く活動によって、日常化を図ります。



◀p34

● 程度・分量

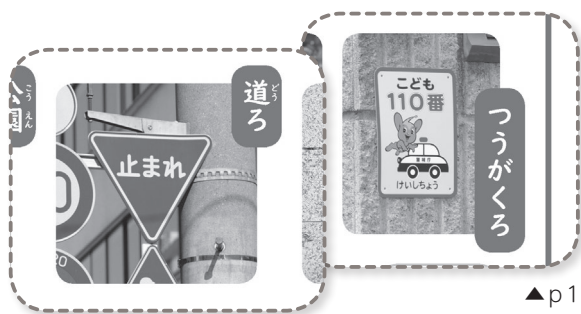
内容と程度は、子どもの発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句を選んで教材化しています。



◀p17

● 安全・安心への意識を高める

子どもの身近な生活で見られる道路標識などを示すことで「安全・安心」に対する注意を促しています。



▲p1

● 漢字の字体については、学習指導要領に示された

字体を拠りどころにし、穏健・中正で書きやすく、子どもに親しみやすいものとしています。

● 教材の分量は、年間35単位時間程度で、指導事項

を過不足なく効率的に学習できるようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- (ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。
- (イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。
- (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
町の文字たんけん／もくじ	ア イ ウ	表紙裏～p1	1
1 はじめの学しゅう ① 文字を書くしせい	ア	p2～3	1
② えんぴつのもち方	ア	p4～5	
③ 学しゅうのすすめ方	ア イ ウ	p6～7	
④ しょしゃの体そう	ア イ ウ	p8～9	
2 かたかなの学しゅう 画の方こう	ア イ ウ	p10～11	3
レッツ・トライ「算数のノート」	ア イ ウ	p12	3
レッツ・トライ「お話の聞きとりメモ」	ア イ ウ	p13	
3 かん字の学しゅう 1 書きじゆん	ア イ ウ	p14～15	2
2 画の方こう	ア イ ウ	p16～18	4
文字をくらべて話し合おう	ア イ ウ	p19	
3 画の長さ、画と画との間	ア イ ウ	p20～21	3
4 画のつき方と交わり方	ア イ ウ	p22～23	2
5 文字の中心	ア イ ウ	p24～25	3
知りたい文字のせかい「何の形からできたかん字かな」	ア イ ウ	p26	適時
6 年がじょうと書きぞめ	ア イ ウ	p27～29	5
7 文字の形	ア イ ウ	p30～31	2
書いてつたえ合おう 「しょうたいじょう、本のしょうかいカードを書こう」	ア イ ウ	p32～33	4
学しゅうのまとめ	ア イ ウ	p34～35	2
はってん「三年生から毛ひつの学しゅうがはじまるよ。」	ア イ ウ	p36	適時
かん字のひょう 二年生で学しゅうするかん字(160字) 一年生で学しゅうしたかん字(80字)	ア イ ウ	p37～39	適時
ひらがなのひょう・かたかなのひょう	ア イ ウ	p40～41	適時
		計	35

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-3	小学校	国語科	書 写	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 203	小学 しょしゃ 二年		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
36	三年生から毛ひつの学しゅうがはじまるよ。	1	(イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。 (ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。	1
合 計				1

(「類型」欄の分類について)

- ・学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容 …… 1
- ・学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容 …… 2